

RJ 二重ロック機構で安全安心! 遠隔操作も可能!!

鉄筋吊りクランプは、PC柱や壁筋などの大荷重の構造物に対応。2回操作式ロック解除で、誤操作やワイヤロープのからまりによる誤解除が無くなります。



吊り治具・二重ロック式

鉄筋吊りクランプ

他社にない機能

強化ガイド・ガイド受け・ワイドカム



ガイド受け

強化ガイド

ワイドカム

アジャスター付き

D19~D29 / φ18~φ33

アジャスター無し

D32~D41 / φ32~φ48

※アジャスターは、必ずイーグルクランプ純正品を使用してください。ボルト2本止めです。
※アジャスター取り付け時、六角レンチを付属しております。(販売)

クランプ
最大使用荷重 **1.5ton**

許容範囲を超えた場合、クランプの破損・吊り荷の落下の原因となります。

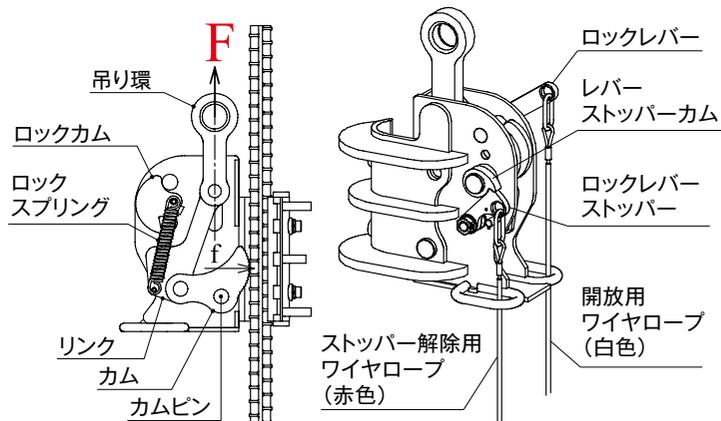
危険!

- クランプの最大使用荷重を超える吊り荷は絶対に吊らないでください。
- 丸棒・パイプを吊る場合は、吊り荷質量が軽量(最大使用荷重の1/5未満)のものは使用出来ません。

レバー式ロック装置 (締め付け開放機構)

ロック装置のカムがカム用リンクを押し上げる機構なので、吊り環を引っ張っても締め付け用カムが閉じることがないため、必ずロック装置を作動させなければなりません。ロックレバーをロック位置に押し込みセットすると、スプリング張力により締め付け用カムが開口部にせり出し、吊り荷を押しつける機構です。

※吊り環にかかる力(F)はリンクによってカムに加わる。カムに掛かった力は、カムを支点とする締め付力(f)で吊り荷を締め付ける。



二重ロック機構

ロックレバーをロック位置まで押し込むと、ロックレバーと連動しているレバー・ストッパーカムがロックレバー・ストッパーに動きを制御されているため、ロックレバーだけでは開放できない二重ロック機構になっています。

遠隔操作で

クランプの開放・取り外しが可能

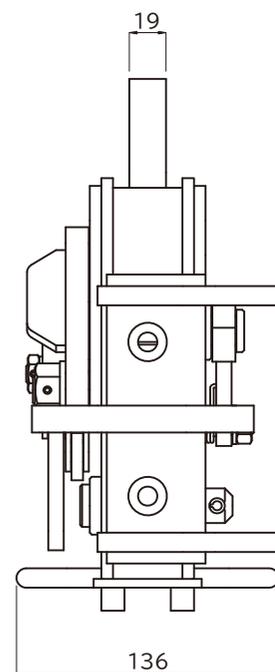
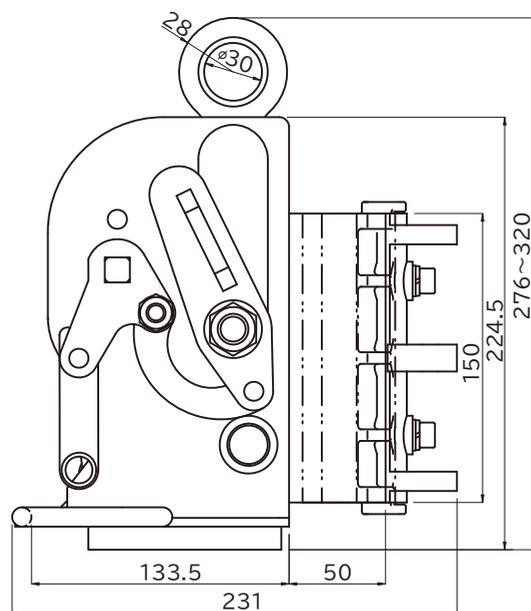
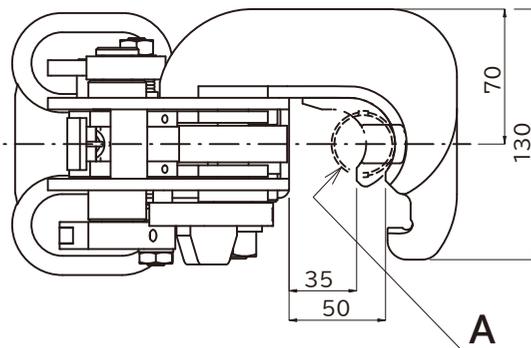
2本の操作ワイヤロープを引くことにより自動開放を行う構造です。通常3mのワイヤが付属しております。(最長9mです。) 長さに指定がございましたらお問い合わせください。

RJ 鉄筋吊りクランプ

製品質量	型番	リース販売
10kg	CSBL-1.5	



仕様寸法図

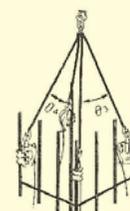
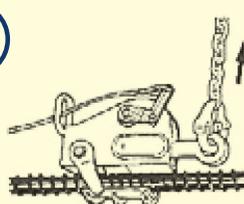
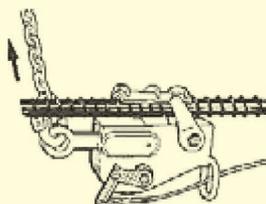


許容使用寸法 A

- アジャスター付き・・・鉄筋呼び名D 19～D 29・丸棒(mm)φ 18～33
- アジャスター無し・・・鉄筋呼び名D 32～D 41・丸棒(mm)φ 32～48

注意

- 吊り荷を横にしてクランプを取り付ける場合は、吊り環が吊り荷の上側に、受け金が吊り荷の下側になるように取り付けてください。
- 対向角度(θ3)は60°以内、掛け幅角度(θ4)は20°以内で使用してください。
- 吊り荷固定後のクランプ取り外しの際は、完全に無負荷の状態、且つスプリングが十分にたるんでいないと、遠隔操作用ロープを引っ張っても、クランプは開放できない構造になっています。



※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

自動
玉外し装置

反転装置

回転
誘導装置

バランサー

天秤

クランプ

調整
治具

エコライザー

RUD製品

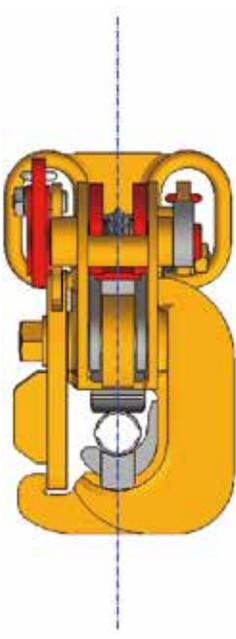
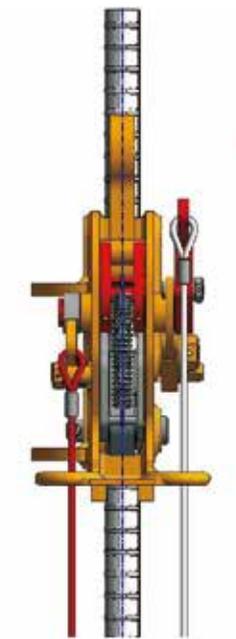
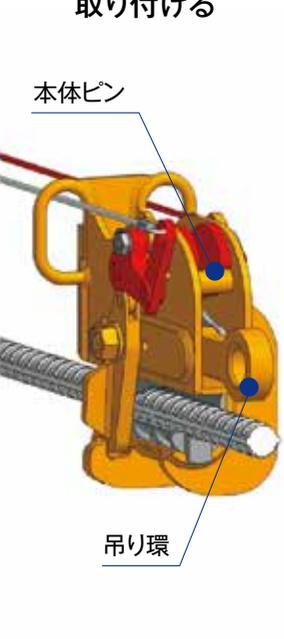
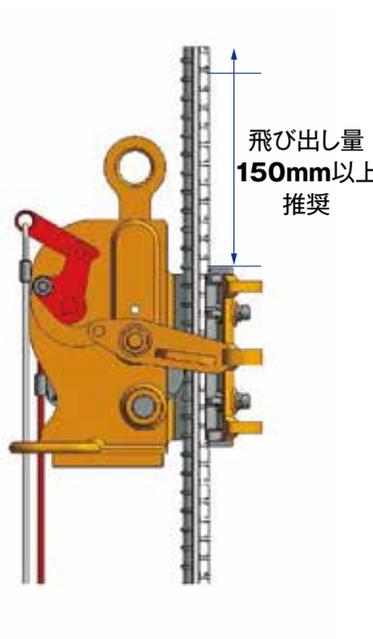
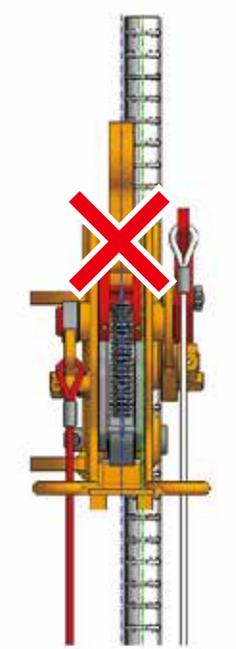
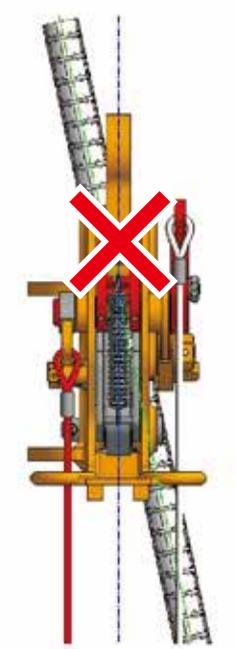
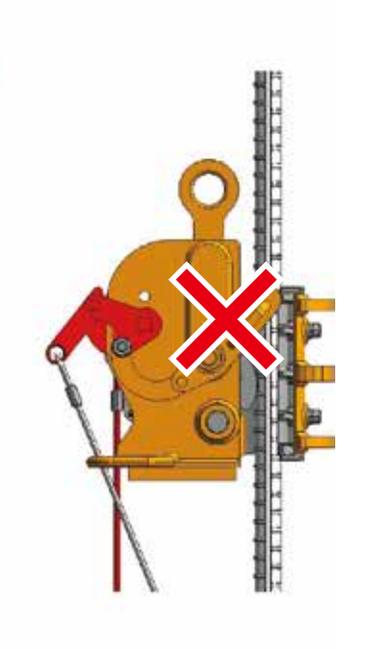
PC吊金具

その他

寸法表・
安全荷重表

RJ 取り付け状態正誤表

自動玉外し装置
反転装置
回転誘導装置
バランサー
天秤
クランプ
PC調整治具
エコライザー
RUD製品
PC吊金具
その他
寸法表・安全荷重表

<p>指示</p> <p>指示している取り付け方</p>	<p>吊り荷の中心に取り付ける</p> 	<p>吊り荷の中心と同一線上に取り付ける</p> 	<p>荷重を加えたとき、吊り環が本体ピンに当たる向きに取り付ける</p>  <p>本体ピン</p> <p>吊り環</p>	<p>ロック装置を確実にセットする</p>  <p>飛び出し量 150mm以上 推奨</p>
<p>禁止</p> <p>禁止とする取り付け方</p>	<p>❌ 中心のズレ</p> 	<p>❌ 斜め取り付け</p> 	<p>❌ 横向き取り付け</p>  <p>❌ 逆向き取り付け</p>  	<p>❌ ロック位置が不完全</p> 

注意 取り付け時および荷重を加えた状態で指示状態になるようにしてください。

RJ 使用上の注意事項

1. 取扱説明書の必読

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

2. 作業前点検の厳守

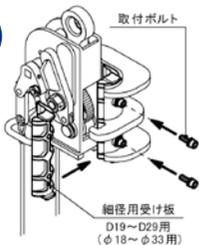
必ず作業開始前の点検、および定期点検を実施し異常のあるクランプは使用しないでください。

3. 油等付着物の除去

吊り荷のつかみ部に油、塗料、スケール、錆等の付着物がある場合は、きれいに取り除いてください。

4. 使用基準の厳守

クランプの最大使用荷重を超えるもの、および許容使用寸法以外の吊り荷は絶対に吊らないでください。ご使用前に必ず吊り荷の直径または呼び名を確認開口調整を行ってください。

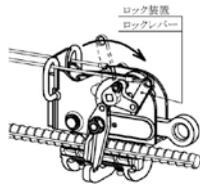


注意 (Caution)

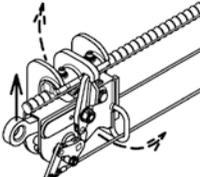
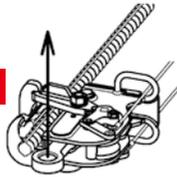
- 最大使用荷重1.5tonを超える吊り荷は、絶対に吊らないでください。クランプの破損、吊り荷の落下等の原因となります。
- 細径用受け板は、必ず当社純正品を使用してください。(ボルト2本止め)

5. 横向き吊り荷のクランプ取り付け方

引き起こしの際は、ロックレバー側を上にして取り付けてください。反対向きに取り付けると、クランプが回転し、カムが吊り荷から外れる(クランプされていない状態になる)恐れがあり危険です。

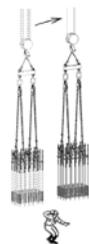
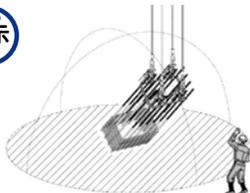


逆向きも禁止



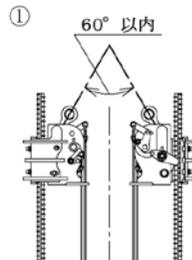
6. 転倒範囲内立入禁止

吊り荷の落下・転倒範囲内には立ち入らないでください。また、人の頭上通過・頭上での作業は絶対に行わないでください。

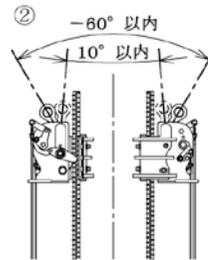


7. 吊り角度の厳守

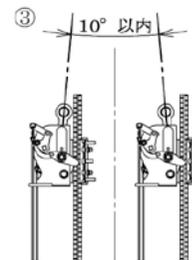
(天秤やバランスを使用した垂直吊り推奨)



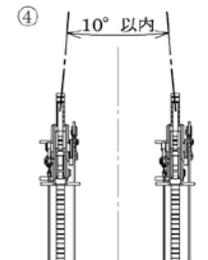
ロックスプリング側が向き合っているときの角度は60°以内。



受け板側が向き合っているときの角度は-60°~10°以内。



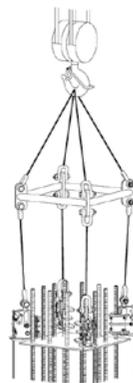
ロックスプリング側と受け板側が向き合っているときの角度は10°以内。



ガイドリンクユニット側とレバーストッパーカム側が向き合っているときの角度は10°以内。

8. 天秤の使用

多点吊りの場合は、クランプおよび吊り荷同士が干渉しないように、吊り荷の状況に合った天秤等を使用してください。



9. 鉄筋吊りクランプの4点吊りでの最大使用荷重について

- 滑車等を使用して、均等に荷重がかかるように使用していただける場合のみ、最大使用荷重は、1.5ton×4台=6ton
 - 滑車等を使用しない場合は、4点吊りであっても3点吊りと考え、最大使用荷重は、1.5ton×3台=4.5ton
- クランプの取り付け位置、スリングの長さ等、すべてが一定であることが必要になります。

自動
玉外し装置

反転装置

回転
誘導装置

バランサー

天秤

クランプ

PC
調整治具

エコライザー

RUD製品

PC吊金具

その他

寸法表・
安全荷重表



ご存知ですか？ 立て起こし作業時

柱を吊り上げる際、滑車を使用しないとクランプが一時的に無負荷状態に！
無負荷で吊り上げますと鉄筋クランプの吊り上げ効果は半減してしまいます。
角型天秤+スナッチ滑車+鉄筋吊りクランプで安心な立て起こし作業を推奨します。
※吊り上げ計画時、当社にご相談ください。安全に吊るためのご提案をさせていただきます。



RJ 点検について

■ 当社の点検!

返却時



カムの歯の摩耗や欠け、各部変形等
を検収します。
(摩耗や欠けがある場合交換します)

分解～磨き～清掃～塗装



スプリングピンは毎回新しい物と
交換します。

組み立て後



スプリングピンが正しく差し込まれ
ているか?稼動はスムーズか?等を
チェック。開口部等測定します。



各部に注油し、注意確認シールを
貼り、再度チェック。



**測定し、基準値に満たない製品は、
絶対に出しません。**

■ 当社では必ず『製品検査報告書』を出荷時に提出します

【リース会社用】

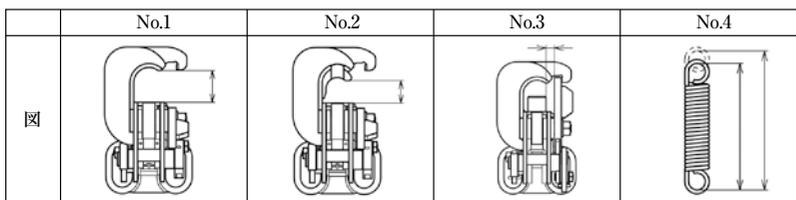
鉄筋吊りクランプ CSBLII型 製品検査報告書

製品番号 NSB-000

検査年月日 ○○○○年○月○日

◆測定結果

No.	項目	点検箇所 No.	基準	測定値
1	本体開口寸法 (細径用受け板取り外し時)	I-1	53.0mm以上は不可	50.40
2	本体開口寸法 (細径用受け板取り付け時)	16-1	38.0mm以上は不可	
3	カムとガイドの間隔寸法	B-3	18.0mm以上は不可	14.50
4	ロックスプリングの伸び ※「25」「30」はスプリングの線径です。適応欄のみ記入してください。	2.5	86.1mm以上は不可	82.20
		3.0	92.4mm以上は不可	



◆確認項目

No.	項目	点検箇所 No.	確認
5	刻印が明確に表示され、読み取ることが出来るか	A-1	✓
6	本体が貼り付けされている銘板またはシールについて、明確に表示されているものが取り付けられているか	A-1	✓
7	スムーズに作動しているか	B-1,2	✓
8	ガイド取付ボルトの曲がりがないか	1-5	✓
9	溶接部に異常はないか	1-6	✓
10	カムの歯の摩耗 (0.5mm以上)・欠け・目詰まりがないか	4-1	✓
11	カシメ部にゆるみがないか	4.3.13.3	✓
12	「ロックスプリング」に変形および付着物(サビ等)がないか	15	✓
13	「細径用受け板」が取り付けられ、ボルトが締め付けられているか	16.4	✓
14	操作ワイヤロープに異常はないか	17.18	✓
15	本体・部品に深さ2mm以上の傷がないか	全般	✓
16	正常に組み立てられ、部品の取り付け忘れがないか	-	✓
17	「スプリングピン」が差し込まれているか(一度抜いたものは使用禁止)	-	✓
18	摺動部に注油を行ったか	-	✓

検査実施会社 **アールアイ株式会社**

検査員 **東京 太郎**



■注 記

- ※本書に記入するときは、必ず取扱説明書(詳細版)の点検マニュアルを参照して行ってください。
(「点検箇所No.」等)
- ※基準値を超えるものや異常のあるものは、取扱説明書にのっとり、部品の交換を行うか廃棄としてください。
- ※製品番号は、クランプ本体にアルファベット3文字、数字4桁で刻印されています。(例.NRC-1234)
- ※測定結果の測定値欄に、ノギス等の測定具で測定した値を記入する。(小数点第一位までを記入)
- ※確認項目について検査を行い、異常がなければ確認欄に「V」を記入する。
- ※納品時には、本書を添付していただきますようお願いいたします。

自動
玉外し
装置

反転
装置

回転
誘導
装置

バラ
ンサー

天
秤

ク
ラ
ン
プ

PC
調整
治具

エ
コ
ラ
イ
ザ
ー

R
U
D
製
品

PC
吊
金
具

そ
の
他

寸
法
表
・
安
全
荷
重
表

RJ 取り付け・取り外し

■ 取り付け方法



①ピンを吊り穴に
合わせます。



②"カチッ"と音がするまで
ピンを差し込みます。



③セット完了。ピンが抜け
ないことを確認します。

■ 取り外し方法



ラチェットを開放し、ピンを引
き抜きます。

RJ 作業前の確認について

① 本体の表示確認

- ▼ 本体には、型式、使用荷重、ロットNo.が刻印されています。ご使用前に、必ず刻印の表示を確認してください。また、月例点検後は点検が済んだことが分かる表示をし、その表示のあるものを使用してください。

② 吊り荷重の確認

- ▼ 吊り荷の荷重は使用荷重の許容範囲内で使用してください。

③ 吊り荷の厚さの確認

- ▼ 吊り荷の厚さと穴径は、KT-1の許容範囲内で使用してください。

④ 作業前点検

- 作業の開始前に必ず点検を行なってください。
KT-1に変形、き裂、摩耗等異常のあるものは使用しないでください。

RJ 使用上のご注意

吊り作業が終了後、
次の鋼材を取りに行く時は
必ず、ピンを本体に収納してください



⚠ 注意

- ピンが収納されていないと、ピンが鋼材、ネット等に引っかかり、重大事故につながるおそれがあります。また、本体などが破損することもあります。
- ピンを収納しなかった事による事故、損害については保証されない場合があります。